

2021年度(令和3年度) 新体力テストの結果

児童質問紙(第5学年)

運動(体を動かす遊びを含む)やスポーツをすることは好きですか

	好き	やや好き	やや嫌い	嫌い
男子	69.57	19.57	6.52	4.35
女子	65.96	25.53	8.51	0.00

体育の授業は楽しいですか

	楽しい	やや楽しい	やや楽しくない	楽しくない
男子	63.04	28.26	6.52	2.17
女子	72.34	25.53	2.13	0.00

運動やスポーツをどのくらいしていますか(体育の授業をのぞく)

	週に3日以上	週に1～2日くらい	月に1～3日くらい	しない
男子	52.27	29.55	9.09	9.09
女子	41.30	43.48	15.22	0.00

体力・運動能力(第5学年)

	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20mシャトルラン	50m走	立ち幅とび	ボール投げ	体力合計点		握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20mシャトルラン	50m走	立ち幅とび	ボール投げ	体力合計点
男子	16.70	19.31	34.93	43.98	45.34	9.54	152.62	21.54	53.66	女子	17.28	20.12	38.39	42.90	45.47	9.40	147.61	13.80	58.35

県平均値(R3)かつ全国平均値(R2)未滿

重点課題および要因

情意面

- 運動習慣に関するアンケートによると、「運動をすることがやや嫌い」、「嫌い」と答えた児童の割合は、男子が約11%、女子が9%である。
- 運動習慣に関するアンケートによると、「体育の授業がやや楽しくない」、「楽しくない」と答えた児童の割合は、男子が約9%、女子が約2%である。

運動に対してよりマイナスなイメージをより持っている男子が女子より体力テストの数値が低い。

体力面

- 新体力テストの総合評価のAB率42.7%、DE率26.7%である。((AB-DE)率16%)
- 男女ともに「立ち幅跳び」「ボール投げ」が県平均値かつ全国平均値より低い。
- 男子は「上体起こし」「20mシャトルラン」「50m走」も県平均値かつ全国平均値より低い。
- 運動習慣に関するアンケートによると、「運動を月に1～3日くらいする、しない」と答えた児童の割合は、男子が約18%、女子が約15%である。

重点課題等に対応した改善する取組内容及び方法

体育の授業で行う取組内容

- 「立ち幅跳び」→「タイミングの良さ」、「力強さ」の力を身に付けるために予備的な運動として、「リズム抱え込みジャンプ」、「ケンパージャンプ」などを取り入れ、場として、「ゴム紐」、「跳び箱」、「踏み切り板」などを取り入れる。
- 「ボール投げ」→「リボンつきボール」、「紙鉄砲」、「ロケットボール」など投げるものを工夫してフォームを意識させたり、体育館の端から端にテープを張り、その上を超えるように投げたりするなど、場を工夫する。
- 「情意面」→子どもが相互でポイントや動きの変化を見付けたり伝えたりする活動を取り入れる。子ども自身が目標数値を掲げ、毎回の記録の伸びに着目させることで、達成感を味わうことができるようにする。

体育の授業以外で行う取組内容

- 「体力面」→家庭で行う運動の計画(マイプラン)の中で、「タイミングの良さ」、「力強さ」が育つ運動を取り入れられるよう、タブレットで動画を視聴するなどし、運動例を紹介する。
→新体力テストの他に、記録を測定できる機会を設ける。その際に、県平均値かつ全国平均値を提示する。
- 「情意面」→体育委員会発のイベントを今後も継続して実施する。(ドッジボール大会、大縄大会など)
→遊びを紹介し、外遊びの機会を増やす。
→ボールを投げるコツなど、運動のコツを紹介する動画を作成し、紹介する。

2022年度(R4年度)の重点目標値

- 新体力テストの総合評価のAB率を45%以上、DE率を15%以下にする。((AB-DE)率30%以上)
- 「立ち幅跳び」、「ボール投げ」を県平均値かつ全国平均値以上にする。
- 運動習慣に関するアンケートにおいて、「運動をすることがやや嫌い」、「嫌い」、「体育の授業がやや楽しくない」、「楽しくない」と答える児童の割合を10%以下にする。